

しおでキラキラほうせきづくり（低学年）

○年○組 ○○○○

<はじめに>

としょかんの本でしおをつかってかざりを作っているのを見ました。家にあるしおをつかって、工作をしながらしおのつきかたをしらべようと思いました。

<ざいりよう>

- ・しお 400グラム
- ・水 1000cc
- ・大きななべ
- ・モール 10本
- ・糸 10本
- ・はさみ
- ・はかり
- ・わりばし
- ・けいりょうカップ

<やりかた>

- ①モールですうじのかたちをつくり、糸をつけました。
- ②糸のついたモールを、少しずつあいだをあけて、わりばしにぶらさげました。
- ③大きななべに、けいりょうカップで、水1000ccをはかっていれました。
- ④はかりでしお400グラムをはかりました。
- ⑤1000ccの水がはいったなべに、しお400グラムをいれて、コンロの火にかけとけるだけとかしました。（家の人にてつだってもらいました。）
- ⑥なべの底につかないように、モールをつけたわりばしを、よこにわたして、モールをしお水につけました。
- ⑦一日ずつモールを取り出し、しおのつきかたを見ました。しお水は毎日ふっとうさせて、のこりのモールをいれました。（火をつかうときは家の人にてつだってもらいました。）



↑
①モールに糸をつけたところ



↑
③④⑤しおをとかすところ



↑
⑥しお水にモールをつけるところ

<けっか>

1 日目	2 日目	3 日目	4 日目	5 日目
				
モールのまわりに、しおのつぶが少しついていました。	1 日目よりたくさんしおのつぶがついていました。	糸のところにもしおのつぶがたくさんついていました。	4 のすうじの上のほうに、しおのつぶがついていました。	上のほうだけでなく下のほうにも、しおのつぶがついていました。
6 日目	7 日目	8 日目	9 日目	10 日目
				
しおがたくさんついて、モールのいろが見えなくなりました。	しおがたくさんついていましたが、6 日目よりはモールのいろがみえました。	8 の下のあながつぶれるくらいしおがつきました。	9 のすうじがわからないうくらいしおがつきました。	かんじの十がわからないうくらいしおがつきました。

1 日目、しおのつぶが少しついていくくらいでしたが、2 日目からはたくさんつきはじまりました。つるす糸にもしっかりつぶがつき、6 日目にはモールがかくれるくらいにもりあがってついていました。

<わかったこと>

しおのつぶが1 日目はあまりついていなかったのですが、2 日目、3 日目とどんどんかたまりが大きくなったので、いちどつぶができるとそのつぶのまわりにどんどんつきやすくなることが、わかりました。

<思ったこと>

モールにたくさんしおのつぶがつき、白いゆきのようなかざりができました。

こんかいは、おなじしおをつかってモールにつくしおのつきかたをかんさつしましたが、次はしおのしゅるいをかえて、つぶのいろや大きさのちがいをみてみたいと思いました。

<さんこうにした本>

- ・「つくってあそぼう 1 2」高梨 浩樹/編 農山漁村文化協会
- ・「塩 海からきた宝石」片平 孝/著 あかね書房